

あいの広場

12月届出分

お誕生おめでとう (敬称略)

(出生児)	(保護者)	(公民館)
有村 颯 <small>はやて</small>	幸夫	外
H14.11.24生まれ		
浦上 蒼志 <small>あおし</small>	晃次郎	下京塚原
H14.12.5生まれ		
岡村 彰太 <small>しょうた</small>	兼司	城内
H14.12.20生まれ		

おくやみ申し上げます (敬称略)

(死亡者)	(届出人)	(公民館)
橋之口 次男 78	ノブエ	谷川
内村 タミ 89	義一	谷川
田畑 弘二 45	尚美	市場
折田 マリ子 55	哲夫	塚原
本田 高 78	孝市	塚原
有村 重光 79	リツ	高嶺
中王子 ケサマツ 92	秀雄	小路
島元 義信 76	雪子	櫛ヶ迫
中村 キクエ 83	立美	大谷
橋之口 ヒデ 89	幸男	川角川

善意の灯火 (12月分)

香典返し (敬称略)

(寄付者)	(公民館)
内村 義一 (故 タミ)	谷川
橋之口 ノブエ (故 次男)	谷川
田畑 尚美 (故 弘二)	市場
折田 哲夫 (故 マリ子)	塚原
本田 ノブ (故 高)	塚原
有村 リツ (故 重光)	高嶺
中王子 秀雄 (故 ケサマツ)	小路
島元 雪子 (故 義信)	櫛ヶ迫
橋之口 幸男 (故 ヒデ)	宮之城町

休日在宅医

2月 9日	医師会病院 (内外児)	53-0326
11日	木原医院 (外科)	52-2700
	おおたクリニック (内科) 入来町	44-3151
16日	国吉内科 (内科)	53-1451
23日	溝口整形外科 (整形)	52-4668
3月 2日	相良医院 (内児)	53-0160

世帯数と人口

12月31日現在住民基本台帳

世帯数	1,840戸	(前月比 +2戸)
人口	5,027人	(前月比 +1人)
男	2,369人	(前月比 +5人)
女	2,658人	(前月比 -4人)

シリーズ 59

ふるさと いいと歩き

紫尾神社の龍の手水

手水てすいずというのは手洗い水のことですが、紫尾神社には龍の手水があります。

水はどのようにして、龍像の中を通ってくるのか不思議で、素晴らしい彫り物です。

それと同じような龍の手水が湯田の湯田八幡にあります。それには、大磯氏一族の名が彫ってあります。

大磯氏の一族は、ものすごい石像仁王・如来・金剛・菩薩・馬頭観音・観音・鳥居の龍柱などを川薩に残しています。

大磯氏の系図によりますと、桓武天皇七八〇年代・清盛平氏・頼盛

保盛 景徳と続き、景徳が神奈川県大磯の地頭になってから大磯景徳となったようです。

元暦八四元年、景徳は、あの有名な一之谷の戦いで源氏に敗れ、薩摩に逃れてきました。

何代かは薩摩にいたようですが、いつからか、出水島津の家臣となり、戦功を立てているようです。

出水島津氏は、同族争いによつて没落したので、大磯徳能の二男徳種一五八〇年生らは鶴田に移ってきていました。そして、宇宿氏の娘と結ばれていました。

後、宮之城主久元の家臣となり、宮之城に移りました。

その子孫に徳親・徳幾・徳包・徳興と続きますが、この人たちは仏師となって、先に述べたような石像等を多く遺しています。

作右衛門・作兵衛・作也・徳能などの名で、素晴らしい石像を遺しています。

紫尾神社の龍の手水の素晴らしさには感動します。

宮之城虎居の大磯家には、仁王像等があります。お断りして見せていただくのも勉強になると思います。



龍の手水 (紫尾神社)